

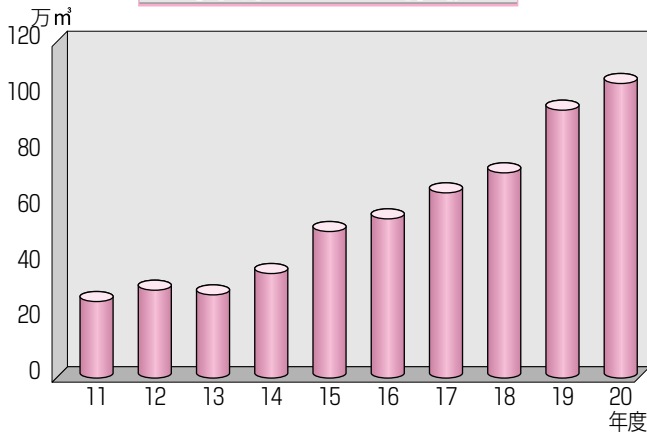
# 工業用水道事業会計決算

# 平成20年度 公営企業の決算状況をお知らせします

## 給水状況

給水事業所数	25事業所
配水能力	5,300m <sup>3</sup> /日
年間総配水量	1,058,790m <sup>3</sup>
1日最大配水量	3,906m <sup>3</sup>
1日平均配水量	2,901m <sup>3</sup>

## 年間配水量の推移



平成20年度は、19年度から2事業所増の25事業所への給水を行いました。給水量は、工業団地の各事業所の使用水量が伸びたことから、前年度に比べ10・3%の伸びとなりました。このため、料金収入は前年度より2・23万円増加して3190万円となりました。

また、増加する給水量へ対応するため、第1工業用水道と第

## 222万円の単年度黒字

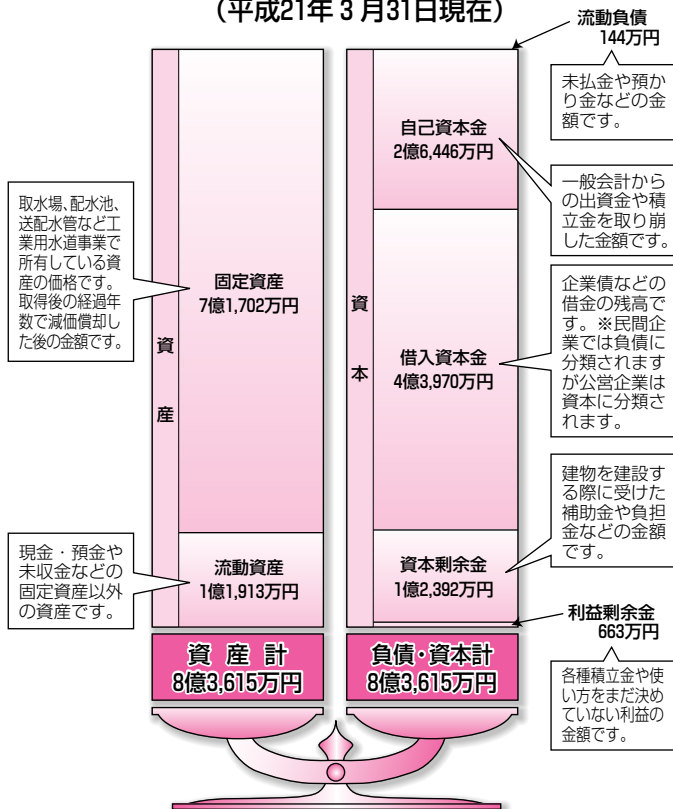
2工業用水道の管路をつなぎました。

料金収入が増加した分、一般会計からの繰入金を減額し、結果として、昨年度より219万円少ない222万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金の返済に充てるため積み立てます。

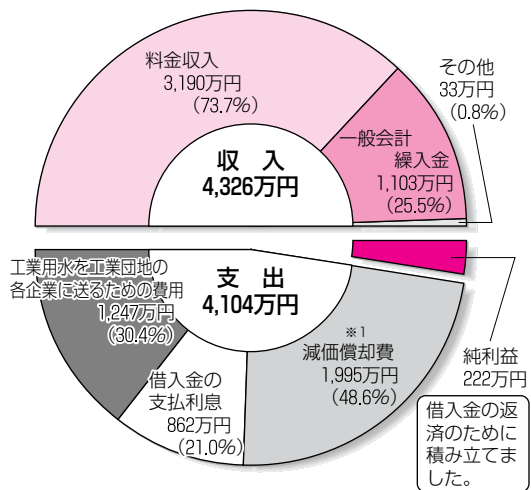
## 平成20年度大館市工業用水道事業貸借対照表

(平成21年3月31日現在)



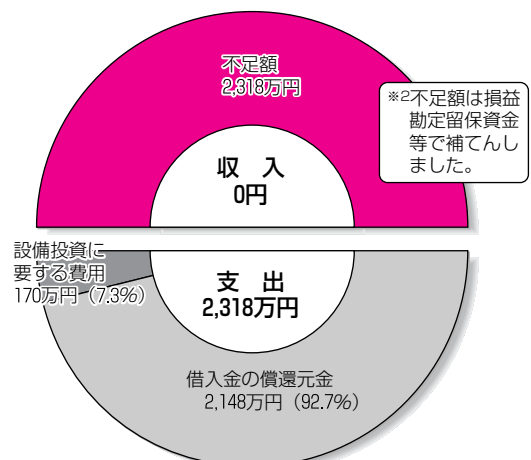
## 収益的収支 (消費税抜き)

〈事業の運営に関する収支〉



## 資本的収支 (消費税込み)

〈施設の整備に関する収支〉



用語解説

### ※1 減価償却費

建物など、時の経過などによって資産の価値が減る分を費用として計上します。実際には現金の支出は伴わず、損益勘定留保資金として処理します。

### ※2 損益勘定留保資金

資本的収支の不足額を補う財源の一つで、減価償却費などの支払を伴わない経費を蓄積した資金です。